

ACアダプター/チャージャー

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。**この取扱説明書をよくお読み**のうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

AC-VQ50

Sony Corporation © 2003 Printed in Japan

この説明書は、古紙70%以上の再生紙と、VOC（揮発性有機化合物）ゼロ植物油インキを使用しています。

InfoLITHIUM(インフォリチウム) バッテリーとは

“インフォリチウム”に対応した機器との間で、バッテリーの使用状況に関するデータ通信をする機能をもった新しいタイプのリチウムイオンバッテリーです。

“インフォリチウム”バッテリーには**InfoLITHIUM**ロゴの表記がある“インフォリチウム”対応の機器との組み合わせをおすすめします。

“インフォリチウム”対応機器と組み合わせて使用すると、バッテリー残量時間*が「分単位」で表示されます。

* 残量時間は、使用状況や環境により正しく表示されない場合があります。“インフォリチウム”対応でない機器でお使いになった場合は、通常の表示になります。

InfoLITHIUM（インフォリチウム）はソニー株式会社の商標です。

ACアダプター／チャージャーの「使用可能時間表示についてのご注意」（必ずお読みください）

本機は充電器として使用中、以下の条件を満たせば、充電中のバッテリーをお手持ちのビデオカメラで使用した場合の使用可能時間を表示します。

- “インフォリチウム”バッテリーを使用している
- お手持ちのビデオカメラが“インフォリチウム”対応機種である

お手持ちのバッテリーに**InfoLITHIUM**ロゴが付いているかご確認ください。また、お手持ちのビデオカメラの取扱説明書で“インフォリチウム”対応機種かどうかご確認ください。

複数の“インフォリチウム”対応のビデオカメラをお使いの場合は、最後にバッテリーを取り付けていたビデオカメラでの使用時間を表示します。

警告 安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

●安全のための注意事項を守る

●定期的に点検する

1年に1度は、ACアダプター／チャージャーの電源プラグ部に異常がないか、故障したまま使用していないか、また、電源プラグ部とコンセントの間にほこりがたまっていないか、などを点検してください。

●故障したら使わない

動作がおかしくなったり、ACアダプター／チャージャーなどが破損しているのに気づいたら、すぐにソニーの相談窓口にご相談ください。

●万一、異常が起きたら

変な音・においがしたら、煙が出たら → ① ACアダプター／チャージャーの電源プラグをコンセントから抜く

② ソニーの相談窓口にご相談ください。

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

<div><div><div><div><div><div></div></div></div><div><div><div></div></div><div><div></div></div></div></div></div><div>警告</div></div>	この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。					
<div><div><div><div><div><div></div></div></div><div><div><div></div></div><div><div></div></div></div></div></div><div>注意</div></div>	この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。					
<hr/>						
<div><div><div><div><div><div></div></div></div><div><div><div></div></div><div><div></div></div></div></div></div><div>注意を促す記号</div></div>	<div><div><div><div><div><div></div></div></div><div><div><div></div></div><div><div></div></div></div></div></div><div>行為を禁止する記号</div></div>	<div><div><div><div><div><div></div></div></div><div><div><div></div></div><div><div></div></div></div></div></div><div>行為を指示する記号</div></div>				
<div><div><div><div><div><div></div></div></div><div><div><div></div></div><div><div></div></div></div></div></div><div>火災</div></div>	<div><div><div><div><div><div></div></div></div><div><div><div></div></div><div><div></div></div></div></div></div><div>感電</div></div>	<div><div><div><div><div><div></div></div></div><div><div><div></div></div><div><div></div></div></div></div></div><div>禁止</div></div>	<div><div><div><div><div><div></div></div></div><div><div><div></div></div><div><div></div></div></div></div></div><div>分解禁止</div></div>	<div><div><div><div><div><div></div></div></div><div><div><div></div></div><div><div></div></div></div></div></div><div>接触禁止</div></div>	<div><div><div><div><div><div></div></div></div><div><div><div></div></div><div><div></div></div></div></div></div><div>風呂・シャワー室での使用禁止</div></div>	<div><div><div><div><div><div></div></div></div><div><div><div></div></div><div><div></div></div></div></div></div><div>プラグをコンセントから抜く</div></div>

警告 下記の注意事項を守らないと、火災・感電により死亡や大けがの原因となります。

指定以外のバッテリー、ACアダプター／チャージャーを使わない

火災やけがの原因となることがあります。

ハンマーなどでたたいたり、踏みつけたり、落下させるなど、強い衝撃を与えない。

分解や改造をしない

火災や感電の原因となります。内部の点検や修理はソニーの相談窓口にご相談ください。

内部に水や異物を入れない

水や異物が入ると火災や感電の原因となります。万一、水や異物が入ったときは、ACアダプター／チャージャーの電源プラグをコンセントから抜いて、ソニーの相談窓口にご相談ください。

水・海水・牛乳・清涼飲料水・石鹸水などの液体でバッテリーパックを濡らさない

感電の原因となります。

電源コードを傷つけない

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。

- 電源コードを加工したり、傷つけたりしない。
 - 重いものをのせたり引っ張ったりしない。
 - 熱器具に近づけない。加熱しない。
 - 電源コードを抜くときは、必ず電源プラグを持って抜く。
- 万一、コードが傷んだら、使用を中止し、ソニーの相談窓口にご相談ください。

雷が鳴りだしたら、アンテナや電源プラグに触れない。

感電の原因となります。

水のある場所に置かない。

ACアダプター／チャージャーやバッテリーパックに水が入ったり、ぬれたり、風呂場で使ったりすると、火災や感電の原因となります。

火のそばや炎天下、高温になった車の中などに放置したり充電したりしない。

危険防止の保護回路が壊れることがあります。

注意 下記の注意事項を守らないと、けがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

水滴がかかる場所など湿気の多い場所や、ほこり、油煙、湯気の多い場所では使わない

上記のような場所で使うと、火災や感電の原因となることがあります。

ぬれた手でACアダプター／チャージャーをさわらない

感電の原因となることがあります。

長期間使用しないときは、ACアダプター／チャージャーをはずす

長期間使用しないときはACアダプター／チャージャーの電源プラグをコンセントから抜き、バッテリーをはずして保存してください。火災の原因となることがあります。

お手入れの際、電源プラグを抜く

電源プラグを差し込んだままお手入れをすると、感電の原因となることがあります。

安定した場所に置く

ぐらついた台の上や傾いたところなどに置くと、製品が落ちてけがの原因となることがあります。

コード類は正しく配置する

電源コードや接続コードは足に引っかけたりして引っばると製品の落下や転倒などによりけがの原因となることがあるため、充分注意して接続・配置してください。

通電中のACアダプター／チャージャー、充電中のバッテリーや製品に長時間ふれない

温度が相当上がることがあります。長時間皮膚がふれたままになっていると、低温やけどの原因となることがあります。

ACアダプター／チャージャーを布団などでおおった状態で使わない

熱がこもってケースが変形したり、火災の原因となることがあります。

バッテリー本体を持ってビデオ機器などを持ち運ばない

ビデオ機器やACアダプター／チャージャーにバッテリーを取り付けたあと、バッテリー本体を持ってビデオ機器などを持ち運ばない。

使用上のご注意

本機は防じん、防滴、防水仕様ではありません。

充電について

- 必ずソニー製純正バッテリーをお使いください。
- 専用バッテリー以外の充電には使わないでください。
- バッテリーはしっかり取り付けてください。

充電するときの温度
室温が0℃～40℃の範囲で充電できますが、電池の性能を充分に発揮させるためには、10℃～30℃での充電をおすすめします。10℃～30℃以外では、効率のよい充電ができないことがあります。

置いてはいけない場所

使用中、保管中にかかわらず、次のような場所に置かないでください。故障の原因になります。

- 異常に高温になる場所
炎天下や夏場の窓を閉め切った自動車内は特に高温になり、放置すると変形したり、故障したりすることがあります。
- ダッシュボードの上など直射日光の当たる場所、熱器具の近くは変形したり、故障したりすることがあります。
- 激しい振動のある場所
- 強力な磁気のある場所や放射線のある場所
- 砂地、砂浜などの砂ぼこりの多い場所
海辺や砂地、あるいは砂ぼこりが起こる場所などでは、砂がかからないようにしてください。故障の原因になります。

使用について

- 本機を壁との隙間などの狭い場所に設置して使用しないでください。
- 強力な電波を出すところや放射線のある場所で使わないでください。
ビデオカメラが正しく録画・再生できないことがあります。
- バッテリー保護のため、充電が完了しましたら、24時間以内に本機からバッテリーを取りはずしてください。
- 強い衝撃を与えたり、落としたりしないでください。
- TVやAMラジオやチューナーの近くで使わないでください。
TVやラジオ、チューナーに雑音が入ることがあります。
- 本機はコンセントの近くでお使いください。本機をご使用中、不具合が生じたときは、すぐに電源プラグをコンセントから抜き、電源を遮断してください。
- 本機や接続コードの接点部に他の金属類が触れないようにしてください。ショートすることがあります。
- 本機を海外旅行者用の電子式変圧器（トラベルコンバーター）に接続しないでください。発熱や故障の原因となります。
- 使用後は必ず電源コードをコンセントから抜いておいてください。抜くときは電源プラグを持って抜いてください。

お手入れについて

- 汚れがついたときは、柔らかい布やティッシュペーパーなどで、きれいに拭き取ってください。
- 汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤に柔らかい布をひたし、固くしぼってから汚れを拭き取り、乾いた布で仕上げてください。
- アルコール、シンナー、ベンジンなどは使わないでください。変質したり、塗装がはげたりすることがあります。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。
- 殺虫剤のような揮発性のものをかけたり、ゴムやビニール製品に長時間接触させると、変質したり、塗装を傷めたりすることがあります。

故障かな？と思ったら

もう1度点検してみましょう。それでも正常に動作しないときは、ソニーの相談窓口にご相談ください。

ビデオカメラなどが動作しない

- 電源プラグがコンセントから外れている。
→ コンセントに差し込む。
- 接続コードを正しく接続していない。
→ 正しくつなぐ。
- モード切替スイッチが「充電」になっている。
→ 「ビデオ／カメラ」にする。

バッテリーの充電が行われない

- モード切替スイッチが「ビデオ／カメラ」になっている。
→ 「充電」にする。

バッテリーの残量が充分あるのに電源がすぐ切れる、または残量表示時間とずれが生じる

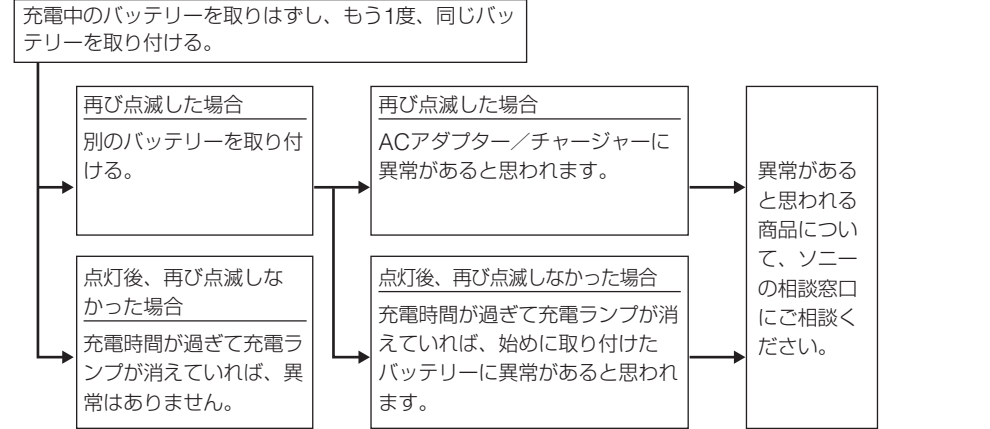
- もう一度満充電する。
→ 残量が正しく表示されます。

表示切替えが行われない

→ 「使用可能時間表示についてのご注意」をお読みください。

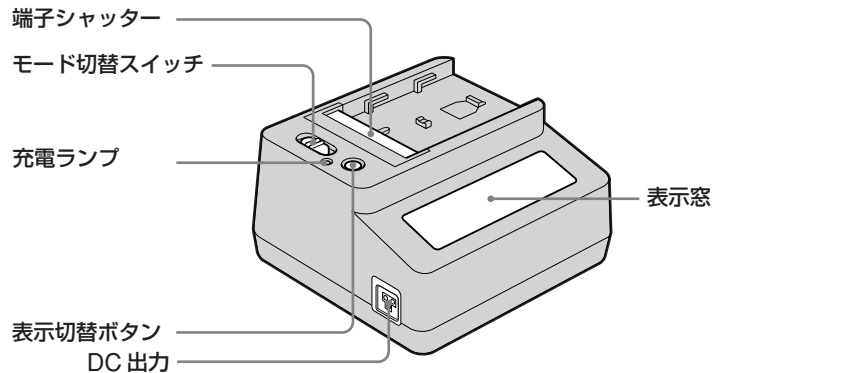
充電ランプが点滅し、表示窓に“充電異常”と表示される

→ 下記の手順に従って確認してください。

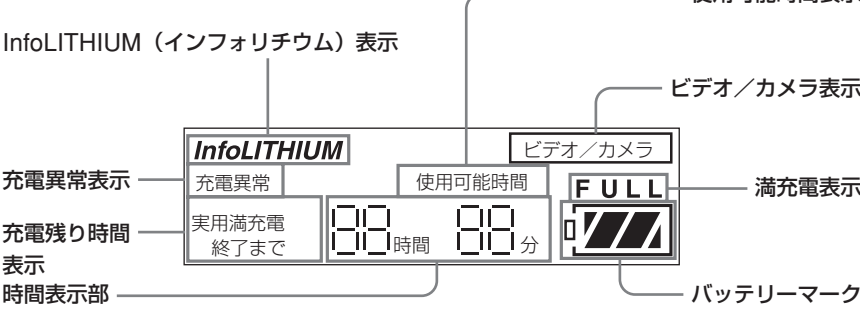


▶ACアダプター／チャージャー (AC-VQ50)

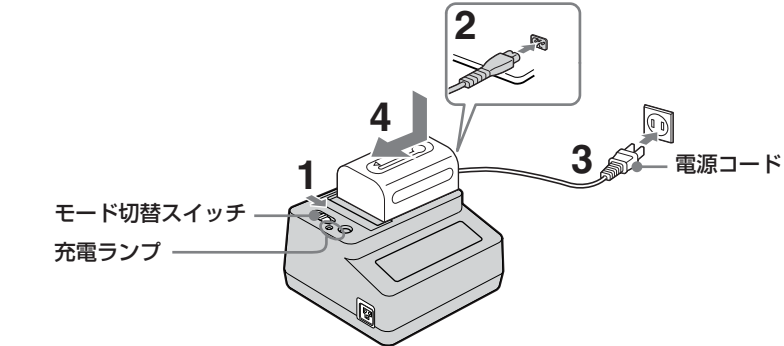
各部のなまえ



表示窓の表示



バッテリーを充電する



1 モード切替スイッチを「充電」にする。

2 電源コードを本体につなぐ。

3 コンセントにつなぐ。

「ピーッ」という音がして、表示窓が点灯します。

4 バッテリーを取り付ける。

充電が始まると、表示窓のバッテリーマークが順番に点滅し、充電されるとバッテリーマークがすべて点灯します（**実用充電**）。さらに充電ランプが消え、バッテリーマークに「FULL」が表示されるまで充電を続けると、若干長く使えます（**満充電**）。

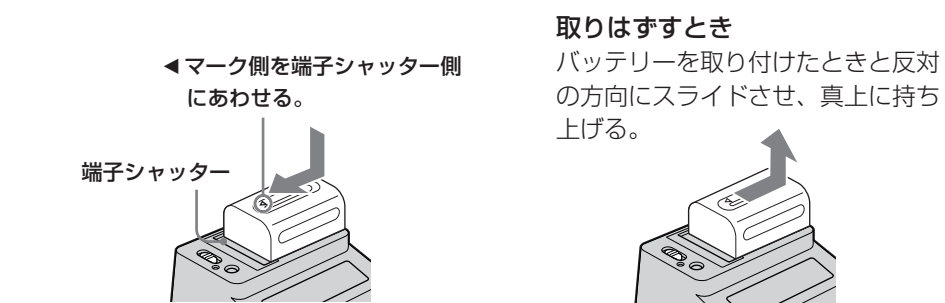
バッテリーマークの点灯

実用充電の終了	満充電の終了

5 充電終了後、バッテリーを取りはずす。

バッテリーの取り付けかた

- 1 本機の上にバッテリーを置く。
- 2 矢印の方向にバッテリーをスライドさせる。
端子シャッターが完全に隠れるまでスライドしてください。



ご注意

- バッテリーをつかんで、本機を持ち上げないでください。
- 端子シャッターには衝撃を与えないでください。バッテリーを取り付けるときなどは、ぶつけないよう、特にご注意ください。
- バッテリーを取り付けるときや、取りはずすときに指をはさまないようご注意ください。

主なバッテリーの充電時間

急速充電

バッテリーパック	NP-FM30	NP-FM50	NP-FM70/QM70	NP-QM71/QM71D	NP-FM90	NP-FM91/QM91/QM91D
満充電時間	約100分	約105分	約150分	約175分	約195分	約205分
(実用充電時間)*	(約40分)	(約45分)	(約90分)	(約115分)	(約135分)	(約145分)

* 本機を使用し、使いきったバッテリーを室温が25℃で充電したときの時間。

周囲の温度やバッテリーの状態によっては、上記の充電時間と異なる場合があります。

急いで使いたいとき

バッテリーは、充電が完了する前でも必要なときに取りはずして使えます。ただし、充電時間によってお使いになれる時間が異なります。

ご注意

- 充電中にモード切替スイッチを「ビデオ／カメラ」にすると、充電は中断されます。
- 充電ランプが点灯しなかったり点滅したときは、バッテリーがしっかり取り付けられていないか確認してください。しっかり取り付けられていないと、充電されないことがあります。

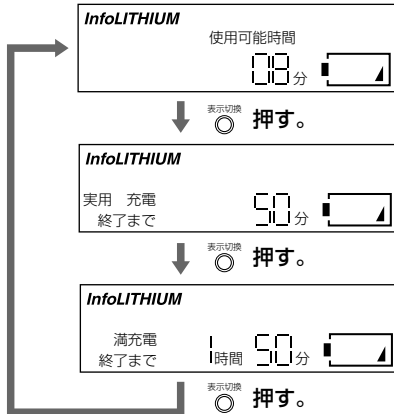
充電中に何か異常があると、充電ランプが点滅し、表示窓に“充電異常”と表示されます。詳しくは「故障かな?と思ったら」をお読みください。

充電の状況を確認する

充電を開始してから約1分すると、表示窓に使用可能時間が表示されます。使用可能時間はビューファインダーを使って撮影した場合の使用可能時間の目安です。液晶画面を使うと、使用可能時間は短くなります。ご使用のビデオカメラによっては、「使用可能時間」が表示されないことがあります。詳しくは、ACアダプター／チャージャーの「使用可能時間表示についてのご注意」をお読みください。

充電中に表示切替ボタンを押す。

ボタンを押すたびに表示は次のように変わります。



- 充電中のバッテリーをお使いの“インフォリチウム”対応のビデオカメラに取り付けたときの使用可能時間（5分未満は表示されません。）

- 充電中のバッテリーの実用充電が終了するまでの残り時間
- 実用充電終了後は表示されません。

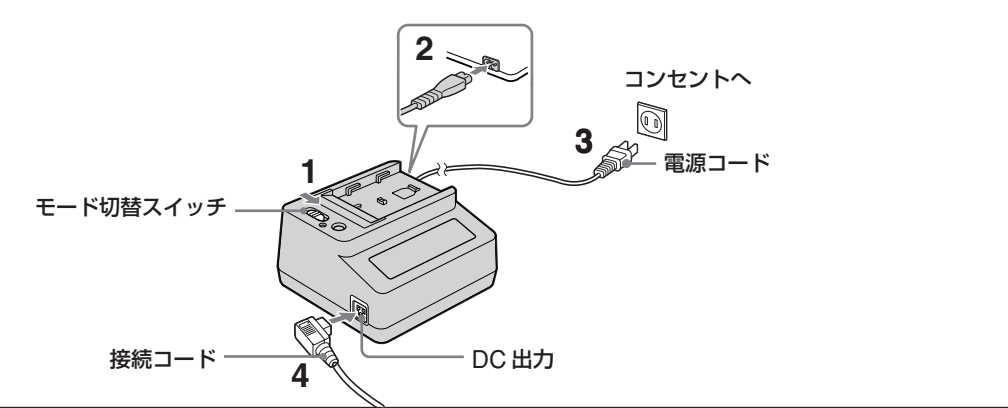
- 充電中のバッテリーの満充電が終了するまでの残り時間
- 満充電終了後は表示されません。

ご注意

- 新品のバッテリーで使用可能時間を表示するには、お使いのビデオカメラなどにバッテリーを取り付け、20秒程度ご使用ください。その後、本機に取り付け、充電を開始すると使用可能時間が表示されます。
- 表示時間は室温が25℃で充電したときの目安です。使用環境によって実際の時間と異なる場合があります。
- 以下のときは表示時間が「―― ――」になることがあります。故障ではありません。
 - ― 使用可能時間が5分以下のとき
 - ― 表示時間と実際の充電時間にずれが生じたとき（そのまま充電を続けてください。）
- 実用充電終了から満充電終了までは約1時間です。この間に本機からバッテリーを取りはずすと、次回充電するときの表示時間が実際とずれることがあります。
- 長時間使用していないバッテリーを充電する場合は、使用可能時間、充電終了時間の表示にずれの生じることがありますが、故障ではありません。この場合は一度満充電まで充電してください。正しい時間を表示できます。
- 満充電済みのバッテリーを取り付けると「満充電まで1時間」の表示が出る場合がありますが、故障ではありません。
- 表示切換ボタンを押してから時間を表示するまでしばらく時間がかかることがあります。

コンセントにつないで使う

ご使用の機器（ビデオカメラなど）の取扱説明書もあわせてご覧ください。
ACアダプター／チャージャー（AC-VQ50）を使って屋内のコンセントから電源をとります。



1 モード切替スイッチを「ビデオ／カメラ」にする。

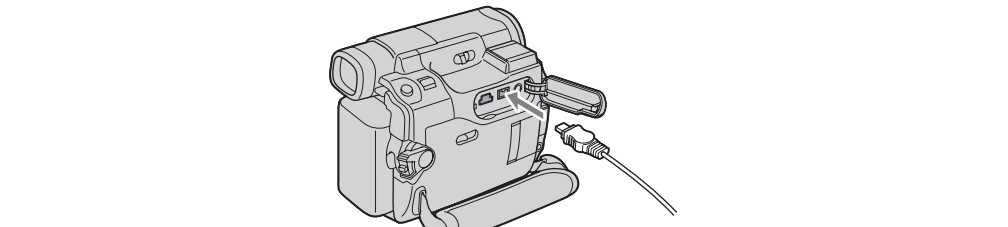
2 電源コードを本体につなぐ。

3 コンセントへつなぐ。

4 接続コードをDC出力へつなぐ。

5 ビデオカメラのDC IN端子カバーを開け、接続コードをDC IN端子につなぐ。

接続コードの向きについてはビデオカメラなどの取扱説明書をご覧ください。



ご注意

- ビデオカメラを使用中に、モード切替スイッチを「充電」にすると、ビデオカメラへの電源の供給は中断されます。
- ビデオカメラの使用中は、ACアダプター／チャージャーにバッテリーを取り付けても充電することはできません。
- ビデオカメラの映像が乱れるときは、ACアダプター／チャージャーをビデオカメラから離してください。

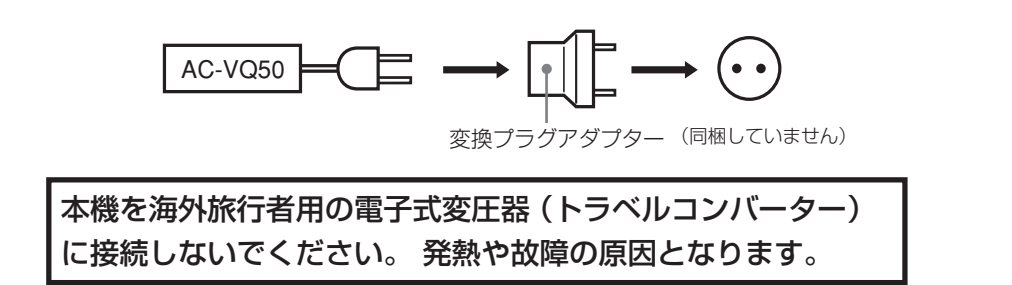
海外へお持ちになる方へ

ACアダプター／チャージャーAC-VQ50は、AC100V-240V、50/60 Hzの範囲でお使いいただけますので、世界中のほとんどのホテルおよびご家庭の商用電源で使用できます。ただし、電源コンセントの形状は各国、各地さまざまですので、お出かけ前には旅行代理店などでお確かめください。

変換プラグアダプターがなくても使える主な国／地域

- ・日本
- ・アメリカ
- ・カナダ
- ・ジャマイカ
- ・パナマ
- ・フェルトリコ
- ・ベネズエラ
- ・ホンジュラス
- ・メキシコ
- ・リベリア など

そのほかの国／地域については、旅行代理店でお確かめください。



本機を海外旅行者用の電子式変圧器（トラベルコンバーター）に接続しないでください。発熱や故障の原因となります。